

(様式1)

自己評価票

作成日 平成28年4月28日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873800718		
法人名	株式会社 モデンナ・ケアサービス		
事業所名	グループホーム わかぐり	ユニット名	2F
所在地	〒300-0334 茨城県稲敷郡阿見町鈴木136-3		
自己評価作成日	平成25年9月15日	評価結果 市町村受理日	平成28年5月24日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kihon=t_rue&JigyosyoCd=0873800718-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成27年11月18日	評価機関 決 済 日	平成28年4月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none">・グループホーム特有である家庭的な雰囲気を大切にし、職員と利用者様が家族のような関係を築けるよう心掛け配慮し、安心して日常生活がおくれるよう支援しています。・外食やお弁当など、普段とは違う形で食事を提供し、利用者様に楽しんで頂いております。・有料老人ホームと併設されている為、看護師にいつでも相談できる環境となっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所自体が地域の一員となるよう自治会に加入し、毎月自治会主催の「廃品回収」の協力や「納涼祭」を開催するなど、利用者が暮らし易いよう地域と交流している。</p> <p>管理者は毎月2回は3食とも利用者が希望する献立の食事を提供しており、近隣にあるアウトレットのフードコートで外食したり、普通食が食べられない利用者のためにミキサーを用意してペースト状にするなど、利用者一人ひとりが食事を楽しめるよう配慮している。</p> <p>職員は利用者の着替え用にと、自宅から衣類や帽子、小物などを持ち寄り、不測の事態に備えて利用者の支援にあたっている。</p> <p>職員は「バスソルト」と「重曹」で手作り入浴剤を作り、利用者が毎日の入浴が楽しくなるよう工夫している。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	全職員が名札の裏に理念を記し、常に理念を念頭におきながら、利用者様を支援している。また、家族や来訪者にも、施設の理念を理解できるように、各階の共用空間に提示している。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設での納涼祭や地域の夏祭りに参加し、地域の人々と交流している。年間をとおして、ボランティアが定期的に訪れ利用者様と楽しみながら交流していただいている。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域のイベントに参加を重ねて認知症の人への理解をして貰う。またどんな支援をしているか、運営推進会議等で話し地域の方にも理解して貰っている。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は区長、町職員に参加していただき、二か月に1回開催されている。グループホームでの入居者状況、活動状況などを報告し話し合い事業所の運営に活かしている。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	併設する有料老人ホームと連携し、相談するとともに、受けた助言をサービスの向上に役立てている。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	生命に危険がない限り、身体拘束は行わないようにしている。また、現在身体拘束は行っていない。ただし、居室の窓については制限している。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者、職員は虐待防止の徹底を図るため、勉強会を実行している。利用者様の訴えや身体チェック観察を行っている。就業規則に則り厳しい処分をおこなう。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度について職員が理解不足も有り勉強会を開いて、理解したうえで活用して市町村の担当職員に、その都度相談している。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は、運営規定や、重要事項説明書をわかりやすく説明し、随時質問等に答え不安解消に努めている。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議で意見を伺っている他、意見箱を設置している。意見や要望がある場合は職員でミーティングを開き、改善するよう心掛けている。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の各フロアごとのカンファや全体ミーティングに発言の場を設け、話しやすい環境作りに努めている為、職員の意見は多々あり、運営に反映させている。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表取締役は月1の施設長会議や月数回の巡回時に職員個々の状況把握に努めている。管理者、職員同士コミュニケーションをとり、仕事内で声掛け助け合い働きやすい環境を作っている。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修や勉強会を開いており、職員一人一人のケアについて意見を出し話し合いをしている。尚中堅職員についても管理者が管理者会議で学んだことを、セクション別の勉強会にて学ぶ体制を整えている。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同業者との交流があり、意見交換して、勉強会等を行い、サービスの向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談から利用に至るまで、家族、本人の時間が可能な限り、施設内のケアマネを交えて話し合いし、不安なこと、要望を把握し、それに答えられるようにしている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	管理者、職員は家族とのコミュニケーションを取り、事前に話し合いの場を作り、本人の生活状態を聞き、参考にしている。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時管理者、職員は施設ケアマネと連携を図り、ご利用者様とご家族にとって最良のサービスを提供できるよう相談援助を随時行っている。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様と職員が支え合いながら生活しているよう家庭的な雰囲気大切にしている。日常生活等一緒に出来る場を作り、傾聴し、尊敬の気持ちを忘れず対応している。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日常生活内での変化など、その都度家族と連絡を取り面会の際は必ず家族の方とコミュニケーションをとり信頼関係を築けるよう心掛けている。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	施設では手紙の代筆や電話がいつでもできる環境を整えている。また、友人の面会もあり、外出へのサポートも本人の意向に対応できるよう支援している。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が利用者様間の橋渡しになれるようケアをしている。また、利用者様の性格に合わせ席替えをしたり、話題を提供するなどの環境作りに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も、家族より相談等も随時受け付けている。 家族の悩みや本人の状況を把握しアドバイスも行っている。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の言動や表情から「想い」を感知できるように見守りしたり、また直接アセスメントし希望や意向を聞いている。困難な場合は家族から話を聞いたり、日々利用者様を理解するよう努めている。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所される事前に生活歴等を伺い情報を把握している。また、新たな情報を収集したときは、その都度追加記載している。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々様子観察を行い、介護記録に生活の変化や健康状態を記載し、申し送りノートに要約することで職員が現状把握している。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族の意向を聞き、管理者と職員を交えてカンファレンスを行い、本人の意向に対して、意見を話し合い、残存能力を活かして本人らしい生活ができるような計画を作成している。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活の様子、気づいた事、変化を個別介護記録に記入し、カンファレンスを開き、介護計画の見直しをしている。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	グループホーム内だけではなく、外出行事を企画するなど柔軟な支援に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との交流をはかることで、利用者様の生活の楽しみに繋げている。ボランティア活動では、日本舞踊、又施設の納涼祭では、地域の育成会と一緒に盆踊りを楽しんでもる。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	施設内に相談できる看護師が常駐しているので、救急の時にはいつでも対応できる。かかりつけの医院と継続し、通院提携医院も利用している。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設内の看護師の協力を得て、毎日の健康チェックを行い、状況を申し送り、相談や適切な指示を貰う。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中、状況の把握に努め、早期退院の為、話し合いや協力を得ている。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方については家族の意向を尊重し、施設内の看護師より、専門的な知識や助言を受け、かかりつけ医と相談している。但し、看取りはおこなっていない。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急時の対応マニュアルを作成し、救急救命法の講義や具体的な実技を行い、研修への参加をしている。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を得て年2回避難訓練を行っている。運営推進会議で議題として取り上げ地域との協力をお願いしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様一人一人の人格を尊重し、本人の思っている現実を否定することなく、会話する事を心掛けている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の意見や希望を充分に取り入れ対応している。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様のペースを尊重し、対応や利用者様主体のその人らしさを重視したケアができるように心掛けている。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節、外出、日常など、時々に応じたおしゃれができるように支援している。月1回移動美容室を利用している。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の希望を把握するように努めており調理、片付けができる利用者様に手伝っていただいている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様の食事、水分摂取量をチェックし、把握している。栄養バランスについては栄養士に相談している。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は、歯磨き、義歯の洗浄を行い、口腔ケアの必要性を声かけ徹底している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者様一人一人にあった排泄介助を行っている。自立に向けた支援としては昼間はトイレでの排泄する生活に取り組んでいる。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の工夫や腹部マッサージをして自然排便ができるように心掛けているが、排便困難の際、施設内の看護師に相談し、薬でのコントロールをしている。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者様の体調を診て、毎日声掛けし、本人の希望を聞き、入浴を行っている。拒否されても、再度声掛けし、対応している。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、フロア内でレク、外気浴に参加して貰う。夜間帯はゆっくりと休息してもらえよう心掛けている。日中個々の疲れ具合にて休息を取ってもらっている。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋ファイルを作成し、服薬介助の際、名前、日付けを確認し、誤薬や飲み忘れがないように心掛けている。内服した袋をその都度とっておき確認する。内服チェック表に飲ませた職員の名前を記入している。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個人が楽しめるように、食器拭き、洗濯物たたみ等の場面を作り、それぞれの力に応じた役割への支援をしている。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	地域の行事の参加や花見など、利用者方々の行きたい場所へできるだけ行けるように計画、実行している。希望に応じて買物にもでかけている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>利用者様の金銭管理は家族と取り決めた方法で行い、出納で報告している。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>手紙の代筆やいつでも電話を利用できるようにしている。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有の空間は居心地よくできるように、配慮している。強い日差しにはカーテンや暖簾で明るさを考慮し、季節に応じた花など飾る。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者が座りやすいソファを置いて自由に過ごせるようにしている。利用者様同士のふれあいは日常的に行われている。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの家具等を居室に取り入れてもらうことにより、自宅に居るような居心地の良い環境作りを心掛けている。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ユニット内の手すりの設置、浴槽内に滑り止めマット等、利用者に合わせて使用している居室の表札や、トイレ、お風呂の表示も配慮している。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	1, ほぼ全ての職員が ○ 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない